

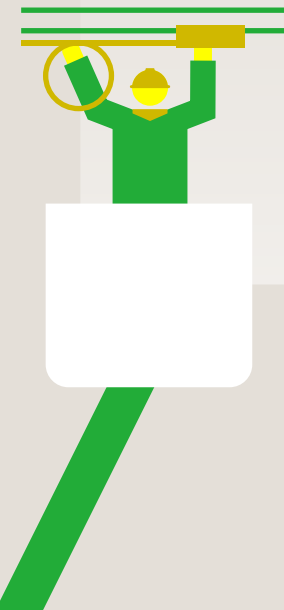
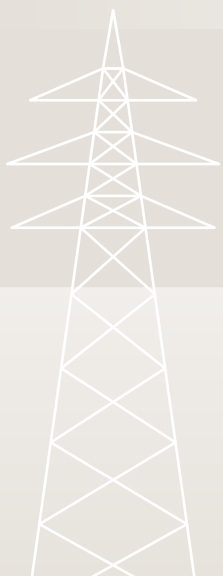


CHUBU ELECTRIC POWER

SAFETY REPORT 2026



大切なパートナーと共有する安全最優先の想い



INDEX

安全大会 REPORT 2026

SAFETY REPORT 2026

安全メッセージ 中部電力株式会社 代表取締役社長 林 欣吾	02 - 06
協力会社安全表彰2026	07 - 12
特選中部電力社長表彰 大成建設株式会社 中部支店さま / 株式会社日立製作所さま	08 - 09
環境・立地部統括表彰 鹿島・東洋共同企業体さま	10
中部電力パワーグリッド社長表彰 川北・東光・名東共同企業体さま	10
再生可能エネルギーカンパニー社長表彰 石田建設株式会社さま	11
原子力本部長表彰 株式会社日立プラントコンストラクション浜岡定検作業所さま	11
部長表彰等 表彰会社一覧	12
安全に関する専門家の講演 文教大学准教授 長谷川 尚子氏	13 - 21
2025年度 請負災害統計	22 - 24

SAFETY MESSAGE

安全メッセージ

協力会社の皆さまへの
社長メッセージ

中部電力株式会社
代表取締役社長 林 欣吾



安全メッセージ

中部電力株式会社 代表取締役社長 林 欣吾

日頃より、弊社事業に多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

初めに、浜岡原子力発電所の不適切な事案につきまして、皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますこと、心からお詫び申し上げます。二度とこのような事案を発生させないとの強い決意のもと、「意識・行動の変革」「組織・組織風土の変革」「ルール・仕組みの強化」の3つを柱として、地域の皆さまをはじめステークホルダーの皆さまから再び信頼される企業へ生まれ変わるための取組みを着実に進めてまいります。

さて、弊社の事業活動においては、多くの設備の運用や保守、取替や新設工事があり、グループ会社や協力会社の皆さまのご尽力なくしては成り立ちません。日夜、安全を最優先に、それぞれのお立場で懸命に業務に取り組んでいただいていることに対し、改めて心より感謝申し上げます。



安全大会は、大切なパートナーである皆さまとともに、労働災害の撲滅に向けて一体となって取り組むため、弊社グループの安全に対する考え方や姿勢を共有する重要な機会であります。

本日は、この大切な場において、「安全表彰」を執り行い、日頃の安全活動に対する敬意と感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

安全メッセージ

中部電力株式会社 代表取締役社長 林 欣吾

さて、弊社では、2025年度に、121件の労働災害※が発生しました。件数自体は、近年、減少傾向にあり、皆さまの日々の安全活動の成果であると受け止めております。

しかしながら、昨年8月には送電鉄塔の塗装作業中に墜落され、また、今年2月には、伐採作業中に倒れた木の下敷きになり、2名の方がお亡くなりになっています。残されたご家族の悲しみを思うと、言葉ありません。

労働災害による死亡者数は、全国的には減少傾向にあり、去年は、過去、最も少なくなった一方で、当社においては、この6年間で上の2名に合わせ、9名もの尊い命を失っており、極めて危機的な状況にあります。

経営トップである私が先頭に立ち、従業員や共に働く仲間の命と、そのご家族の幸せを守るため、労働災害ゼロの実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

また、労働災害が続く背景として、電力業界には、充電部の近くや高い場所、山間部など危険と隣り合わせで作業をする厳しい現場があります。これまでも様々な対策を講じてまいりましたが、依然として、リスクが残る現場もあります。加えて、労

働者数の減少やそれに伴う高齢化、グローバル化など働く人も多様化が進み、安全を確保するうえで必要となる取組みは、ますます多岐にわたっています。

このため、本質的な安全の実現に向けては、機械化やDXの活用、AIなどの最新技術の積極的な導入とともに、働き方改革を進め、電力の現場を魅力あるものとしていくことが、重要かつ喫緊の課題であります。



※業務上災害、通勤途上災害、請負災害の計（従業員災害は不具合含む）

安全メッセージ

中部電力株式会社 代表取締役社長 林 欣吾

一人ひとりが安全で安心して業務に専念し、自己実現できる環境を整えるため、引き続き、経営としてあらゆる取組みを進めてまいります。

一方、労働災害の撲滅を目指すうえでは、「人間は、誰でも意図せずミスをする」ことを忘れてはなりません。いかに設備やルールを整えても、それを運用するのは、人間であり、リスクを下げることはできても、完全にゼロにすることは出来



ません。最後の拠り所になるのは、チームのメンバーがお互いに安全への意識と行動を高め合う「相互啓発型」の風土を醸成することです。すなわち、役職や年齢に関わらず、危険な行動や状況を見かけたら、互いに声を掛け合い、仲間の命を守る行動が自然にできる職場を築くことが重要です。

そのために、私が特に心掛けたいと考えていることを三つお話しします。

一つ目は、安全は、全ての事業の基盤であることを常に意識することです。エネルギーの安定供給、経営の効率化、新たな成長領域への挑戦など、私たちの全ての事業の根幹にあるのは安全です。安全は、他と優先順位を競うものではなく、すべてに先立つ「絶対条件」であることを肝に銘じてください。

二つ目は、安全を「自分事」として捉えることです。「自分は大丈夫」、「自分には関係ない」といった他人事の姿勢ではなく、一人ひとりが自発的にリスクを洗い出し、リスク低減のために適切な対策を講ずることで、災害の未然防止に努めてください。

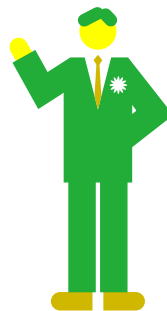
安全メッセージ

中部電力株式会社 代表取締役社長 林 欣吾

三つ目は、対話を重ねることです。ミスやリスクの早期発見には「心理的安全性」が必要不可欠です。心理的安全性を育むには、対話を通して、相手を理解し、率直な意見交換ができる信頼関係を築くことが大切です。当社の全ての役員と従業員が守るべき行動規範である「安全健康行動原則」においても、「事業のパートナーと、安全と健康のために協働する」ことを掲げています。大切なパートナーの皆さまと対話を重ね、ともに「相互啓発型」の風土を築いていきましょう。

当社事業に携わる全ての皆さまと、そのご家族の安全と健康を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

皆さま ご安全に！



安全健康行動原則

すべての役員および従業員は、

- ⊕ 「すべてのケガは防ぐことができる。」
- ♥ 「生涯にわたって健康であり続ける。」

との揺るがない信念を持ち、いかなる場合も次のとおり行動する。

- 1 安全と健康のための行動を称賛し、対話を実践する。
- 2 仲間の成功や失敗から得た教訓を自らの行動に活かす。
- 3 あらゆるリスクを洗い出し、ただちに低減し、管理する。
- 4 人への対策（意識、教育訓練、ルール）とモノへの対策（設備、装備）を共に充実させる。
- 5 事業のパートナーと、安全と健康のために協働する。
- 6 勤務時間外も安全に行動し、健康の保持増進に努める。

会社は安全と健康への施策および投資を継続する。

中部電力3社では、2019年12月より、安全と健康の具体的な行動規範を定め、従業員への浸透に取り組んでいます。

SAFETY AWARD



協力会社安全表彰



中部電力3社では、
弊社からの発注工事等において、
特に安全管理が優れている会社さまを
表彰させていただきます。

※中部電力3社とは、中部電力株式会社・中部電力パワーグリッド株式会社・中部電力ミライズ株式会社の3社です。

2026年度 特選中部電力社長表彰

中部電力3社の2025年度発注工事等で特に安全管理が優れている会社さまへの表彰です。



01 大成建設株式会社 中部支店 さま



具体的安全活動の事例

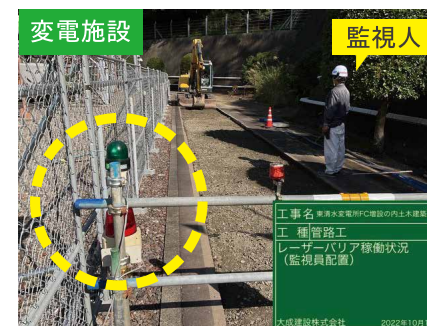
- 稼働中の電力施設内の作業のため、既設変電設備近接作業時には近接時警報装置（レーザーバリア）を設置し、監視員を配置することで多重の安全対策を徹底しております。既設建屋周辺には視認性の高い表示を設置して、危険箇所を明確に視認できるようにしました。資材飛散防止対策についても事前検討を徹底し、周辺設備への影響を未然に防止する万全の養生措置を講じております。
- 既設変電所の機能を維持しながら施工をするにあたり、変電所関係者全員の安全確保を最優先とし、工事ヤードを必要最小限まで縮小することで車両動線を確実に確保しました。さらに、工事エリア内には視覚的に明示した安全な歩行者通路を整備し、関係者が安心して通行できる環境を構築しました。
- 狭隘な敷地条件下における機械関連災害防止対策として、バックホー作業では、法令遵守を徹底した立入禁止措置および誘導員の配置を実施しております。さらに、人感センサー連動型自動停止装置を導入し、設備面からも安全性の向上を図っております。クレーン作業においては、視認性の高い立入禁止措置および吊り荷からの距離が目視で確認できる三色介錯ロープを使用するなど、実効性の高い安全管理を徹底しております。

工事件名 東清水変電所FC増設の内土木建築工事

安全取り組み内容についての表彰会社のコメント

当社は「安全第一主義」を基本理念とし、働く人々が安心して作業に従事できる安全衛生環境の向上と整備を最優先に取り組んでいます。災害ゼロの実現はもとより、一人ひとりの命と健康を守ることが企業の社会的責任であると考え、日々の点検・確認の徹底、危険予知活動の継続、コミュニケーションの活性化を通じて、安全意識の高揚と職場環境の改善に努めています。すべての作業において「安全を最優先に判断する」という姿勢を共有し、全員参加型の安全活動を推進しています。

[具体的安全活動の事例 ①]



変電施設近接作業レーザーバリア設置

[具体的安全活動の事例 ②]



電力施設保守作業、新設機電作業の動線の確保

2026年度 特選中部電力社長表彰

中部電力3社の2025年度発注工事等で特に安全管理が優れている会社さまへの表彰です。



02 株式会社日立製作所さま

工事件名

スマートメーター制御管理システム リプレース業務



具体的安全活動の事例

1 ハイリスク作業に対する「多層的な事前リスクアセスメント」の徹底

サーバルームでの重量物据え付けや電源周りの危険を伴う作業（ハイリスク作業）に臨むにあたり、作業着手前に関係者間で施工手順に潜む危険源の洗い出しを行い、リスク低減策（安全防護など）を全員が完全に理解した状態を構築してから作業を開始しました。

2 公衆災害・インシデント事例を風化させない「落穂拾い」精神の啓発活動

日立には、過去の失敗や製品事故、公衆災害等のインシデントから徹底的に学び、再発を防止する「落穂拾い」という独自の反省・啓発文化が1950年代から根付いています。今回の現場でも、過去の国内外の類似災害事例のメカニズムや関係者の心理的要因まで深く掘り下げた詳細なデータを活用し、定期的なミーティングを通じて、安全意識の向上・教育活動を継続しました。

安全取り組み内容についての表彰会社のコメント

日立グループには、「安全と健康を守ることは全てに優先する」という不変の基本理念（安全衛生ポリシー）があります。当社では業務の優先順位を「S（Safety：安全）>>Q（Quality：品質）>D（Delivery：納期）>C（Cost：コスト）」と明確に定めており、どれほど重要なインフラ工事であっても、安全が確保されない限り次のステップへ進むことはありません。

日頃の活動において当社が最も大切にしているのは、「すべての労働災害は防ぐことができる」、そして「自らの安全と健康は自らが責任をもつ」という従業員一人ひとりの強い信念とオーナーシップです。

これは当社の創業の精神である「和・誠・開拓者精神」にも深く根差しています。今回の中部電力パワーグリッド様とのスマートメーター制御管理システムリプレースプロジェクトにおいても、自社社員だけでなく、共に現場を支えるパートナーの皆さまと全員が一丸となって心理的安全性の高い、声を掛け合える職場環境と安全文化の醸成を心掛けてまいりました。

2026年度 環境・立地部統括表彰

03 鹿島・東洋共同企業体 さま

工事件名 旧尾鷲三田火力発電所海上工作物撤去他工事



具体的安全活動の事例

- 1 リスクが非常に高い水深20mの高水深下での潜水作業を極力削減する工法を提案し、実施しました。
- 2 潜水作業時は、水中ドローンによる動画撮影など、ICT技術を積極的に導入し作業の見える化を図りました。
- 3 3Dプリンタによる栈橋の模型を作成し、最適な撤去方法および撤去順序を検討しました。また、作業員に対し模型を用いて作業方法の周知をしたことで、より具体的に共有できました。
- 4 上部コンクリート撤去において、不安定な現場での足場組立作業をなくす目的で、陸上で足場を組み立て、それを一括して架設する「一体足場」を考案し、安全性向上と作業の簡略化を図りました。

2026年度 中部電力パワーグリッド社長表彰

04 川北・東光・名東共同企業体 さま

工事件名 東名古屋東部線リフレッシュ工事(第2期)2工区



具体的安全活動の事例

- 1 河川堤防に隣接し、かつ工場に囲まれた極めて狭隘な工事敷において、超高圧鉄塔を包込み工法で建替える等、難易度の高い工事であり、狭隘地のため、徹底した整理・整頓、往復輸送方式やコンパクトな特殊機械の採用等を実施しました。
- 2 隣接工場の操業への影響や公衆保安のため、鉄塔側面を覆う飛散防止ネットを設置しました。また、高低差の多い現場環境に対し、手摺付き階段やスロープ等の安全通路整備、仮設ステージによる段差解消を行い、転倒転落災害防止を徹底しました。



2026年度 再生可能エネルギーカンパニー社長表彰

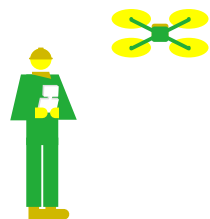
05 石田建設株式会社 さま

工事件名 南向水力発電所えん堤エプロン修繕工事他4件



具体的安全活動の事例

- 1 設備特性や地域特性を十分理解したうえで工事計画を立案し、公衆保安にも配慮した施工に努めました。
- 2 河川内の仮締切等において、周辺環境を考慮し経験に基づき合理的かつ安全な形状にて実施し、工事期間中における出水に対しの確に対応しました。



2026年度 原子力本部長表彰

06 株式会社日立プラントコンストラクション
浜岡定検作業所 さま

工事件名 浜岡2号機RPVヘッド解体撤去工事



具体的安全活動の事例

- 1 国内初の商業用原子炉施設の廃止措置において、事前に策定した解体計画や創意工夫により、大型バンドソーを用いた解体作業を行い、火災発生リスクや被ばくリスクの低減を実現しました。
- 2 作業開始前に、TBMやKYを通じてリスク低減活動を実施し、作業中は騒音計を用いてリアルタイムで騒音を確認しながら取り組みました。また、WBGT値に基づいて熱中症の予防に努めました。

2026年度協力会社安全表彰 表彰会社一覧【中部電力】

(1) 本店部長表彰

部門名	表彰会社名	件名
再エネCP 水力事業部	シーテック・金子工業共同企業体	下原(発)水車発電機一括改修の内土木工事
	日本無線株式会社 中部支社	姫川第二(発)ダム排砂ゲート他ゲート開度計取替他5件
	株式会社光建	西渡(発)放水路補強工事他1件
浜岡原子力発電所	株式会社アトックス 浜岡事業所	クリアランス測定装置3台目等点検
	株式会社セイビ東海 浜岡原子力事務所	一般廃棄物搬出処理委託

2026年度協力会社安全表彰 表彰会社一覧【中部電力パワーグリッド】

(1) 本社部長表彰

部門名	表彰会社名	件名
総務部(建築G)	日本土建株式会社	伊勢営業所移転新築の内撤去工事
送変電部	中央電気工事株式会社	154kV武豊火力臨海線他引出口変更他のうちケーブル工事
	佐野塗装株式会社	犬山川辺線始め6線路防錆塗装工事(1～3期) / 瑞浪竹折線始め4線路防錆塗装工事(1～3期)

(2) 支社長表彰

支社名	表彰会社名	件名
名古屋支社	中電配電サポート株式会社 名古屋支社	配電業務関連委託業務
静岡支社	吉岡電機工業株式会社	安倍変電所 変圧器(275/77kV 4B)撤去工事
掛川支社	東亜電気株式会社	ペパーレット本社線新設工事
浜松支社	株式会社トーエネック 浜北営業所	配電架空線工事、計器検満工事
三重支社	中電配電サポート株式会社 伊勢営業所	配電用地業務、測量委託業務、配電伐採業務
四日市支社	中電配電サポート株式会社 四日市営業所	配電用地業務、測量委託業務、配電伐採業務
岐阜支社	株式会社光建	トヨタ紡織岐阜線(No17)～No18間地中化のうち管路工事
	合同会社西濃電気引込工事センター	引込内線工事
多治見支社	株式会社シーテック 電力本部 変電工事部	坂本変電所77kV設備改修ほか2件のうち電気工事
	一般財団法人 中部電気保安協会 加茂営業所	一般用電気工作物定期調査、一般用電気工作物しゅん工調査、高圧自家用開閉機器操作
高山支社	中部興業株式会社	黒谷変高調波フィルタ設置、中崎変配変配電盤取替、東上田・根方水変保守LAN箱設置
長野支社	長野愛知電機株式会社	マルコメ線新設のうち架空線工事
上田支社	長野愛知電機株式会社	中込変電所配変配電盤取替工事
飯田支社	名東電気工事株式会社	和知野発電所T分岐化および平岡泰阜線経年支持物建替工事
豊橋支社	中電配電サポート株式会社 岡崎支社 新城営業所	保安伐採調査・交渉業務、配電用地業務、架空配電線路設備建設業務

SAFETY LECTURE

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

文教大学 人間科学部 心理学科 准教授

長谷川 尚子 氏

1995年より一般財団法人電力中央研究所 ヒューマンファクター研究センターにて、ヒューマンエラー防止のための研究に携わる。電力会社の配電部門、変電部門、火力発電所の現場にも足を運び、現場を見据えた産業安全について研究を続けてきた。2018年、一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センターに所属し、2023年より現職。心理学の立場から、企業の安全性や生産性向上に資する研究を行っている。個人の安全意識やモチベーションといったミクロな単位から、職場・チームといった小集団（職場学習やチームワークなど）、企業・組織といったマクロな単位（安全文化、高信頼性組織など）まで、その対象は幅広い。理論に偏らず現場を見つめ、発生している問題へ実証的にアプローチする研究を心掛けている。その他の活動として、産業安全対策シンポジウム企画委員、人事院 安全専門委員など歴任。

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

安全意識を
向上させるために、

災害事例は周知しているが、 似たような災害が減らない。

災害事例からの学習・教育における課題

1 マンネリ化・ 形骸化

マンネリ化・形骸化しやすく、周知を聞いて終わりになっている。

2 何を守る 必要があるのか 明確でない

トラブルごとに対策が立てられるために、「守るべきことは何か」がわかりにくく、覚えづらい。

3 他人事と 捉えている

事例を聞いても「他人事」と捉えていて、参照されないまま、同じようなトラブルが発生する。

多くの産業現場で、災害が毎日のように周知・共有されていますが、業種を問わず、多くの安全管理担当者の方が「類似災害がなくならない」と頭を悩ませています。災害が起きて、よくよく調べてみたら、数年前に同じような災害が起きていたという話を、さまざまな業界で聞いています。



災害事例からの学習・教育は、何十年にもわたって基本の安全活動として行われてきていますが、課題の一つは、事例学習がマンネリ化、形骸化しやすいということです。

朝礼で話をする形で終わってしまうと、どうしても聞くだけに終始し、形骸化しがちです。電力業界や

製造業などの安全管理担当者の方に話を聞くと、その月に多い災害、例えば夏場の熱中症、初夏の虫刺されなどの災害事例を集めて災害カレンダーとして紹介するといった工夫をしているところもあります。

このように、現場で起こりやすいことや、その時期に起こりやすいことを、少しでも現場で働く方々の意

識に止まりやすいような工夫をしながら、まさに手を変え品を変え、さまざまに工夫しながら災害事例を共有しているということをお聞きしております。

しかしそれでも災害事例の教訓がうまく伝わらなかったり、災害事例が他人事と捉えられてしまうといった課題もあります。

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例が
役立つのは？**自分の行動が、悪い結果を引き起こしたと
因果関係を自覚できた時に効果につながる。**自分の行動に引きつけて考えないと
学習効果は少ない災害事例の大半は
他人の失敗自分の
行動因果関係が
自覚できない他人の
悪い結果
(災害)

そのため

災害事例から学ぶことは難しい。成功事例は、自分にもできると置き換えて、
失敗は、自分は違うと置き換えたがるのが
人間というものです。

災害事例は、役立つ場合と役立つ場合があり、その効果に違いがあります。私たち人間というのは、自分たちの行動が悪い出来事を引き起こしたと自覚できないと、学習効果は少ないと言えます。



災害事例というのは、ほとんどが他人の失敗です。自分が引き起こしたものではありません。だから、自分の行動が、もしかしたら悪い結果を引き起こすかもしれないという因果関係をまったく理解できないし、自覚もできないものです。

人様の失敗から学ぶということは、実はすごく難し

いことなんです。

特に近年は、多くの現場で、作業が安全にできる環境が整ってきていますので、災害事例の件数自体が少なくなっています。そのため、大きな危険や災害を意識する機会が少なくなり、災害に対して実感がわきにくくなってきていることも、災害事例からの学びを難

しくしている理由の一つかと思います。

また、最近ではあらゆる情報が溢れすぎているので、少しでも自分と関係のないことは、シャットアウトするという傾向もあります。つまり、他人のことを自分ごと化するということが、非常に難しくなっています。

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例を
効果的に伝えるために

「自分も同じような経験がある」と
感じられれば、他人事ではなくなる。

他者の失敗事例から学ぶための学習プロセス

第1段階

災害事例の
当事者の経験と
自分の経験との
重ね合わせ

同じようなことを、
以前に自分も経験したなあ。

共通点に着目している

第2段階

当事者の
行動理由の探索

災害当事者は、どうして
こういう行動をとったのだろう？

第3段階

当事者や
自分の行動と
理想的な行動の
識別

当事者の行動も、あの時の
自分の行動も、周囲から求められる
理想の行動ではなかった？

相違点に着目している

第4段階

取るべき行動と
実施場面の想像

別の結果のために、当事者や自分は、
どういう行動を取ればよかった？
自分たちは同じようにできる？

多角的な視点

第5段階

問題が発生する
プロセスの理解

災害はこのような事象が重なって
発生するのだな。

災害事例を共有したり検討会を行うとき、「この災害ではどこに問題点があったか」と問いを立てることが多くあります。ですが、最初に問題点に着目させてしまうと、その災害を起こした職場や当事者の良くない行動だけに着目をしてしまい、「ああ、あの職場ではこうだったんだね」と、災害は他人事のまま。当然、自分の行動を変えようとは思いません。



災害・事故事例から
学ぶために必要な着眼点

- 1 当事者の視点
- 2 第三者の理想的な視点
- 3 現場の視点

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例から
効果的に学ぶために①なぜその人たちがそういった行動を
取ってしまったのかを考える。例年の点検作業で
起きた災害事例

1

前年の作業手順書を確認し、作業現場近くの
倉庫内にある工具を使い、点検作業を行った。

2

しかし、その工具は作業に適した工具ではなかったため、
作業時に持ち上げた蓋が滑り落ち、作業者が足を被災した。

問題・原因

- ① 作業に適した工具を使用しなかった。
- ② 蓋が滑りそうな位置に足を置いて作業した。
- ③ 蓋の持ち上げ方を考えるべきだった。

よくある対策

- ① 作業に適した工具を使用する。
- 適正な工具がない場合は、
あらかじめ、購入しておく。
- 適正な工具ではないと気づいたら
上長に報告し、指示を仰ぐ。

一方で…

当事者の視点

前年の作業時の手順書を確認し、前年と同じ
工具を使っただけ。

例年、その工具で点検作業を行っていたのだから、安全だと思った。

作業現場の倉庫に、適正な工具が見つからなかった。だから、別の倉庫にある工具で作業するのが正しいと思った。

当事者の視点から見れば、当事者の行動も、
その時点では合理的だったことが理解できる。誰もが同じように振舞う
可能性があるとわかる。

自分ごと化

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例から
効果的に学ぶために②**災害を生みやすい環境や安全対策の不備が、
災害につながるという因果関係を理解する。**

災害につながる因果関係の理解

① 災害を生みやすい環境がわかると…

▶ **環境改善** ▶ **安全職場の構築** につながる。

② 安全対策の不備がわかると…

▶ **安全対策の強化** ▶ **類似災害の予防** につながる。

管理者の方々は、災害事例を活用するときに、ルールを守らせることだけではなくて、自分たちの現場で機能していない安全対策や、自分たちの現場で災害を生みやすい環境がないかを、見直すきっかけにしてください。災害事例は、行動と結果の因果関係がわかる非常に良い学習の題材ですから。



災害の多くでは、さまざまな事象が重なって、災害が起きます。

例えば、手順書、安全でない作業環境、保護具の未着用など、こうした事象の連鎖が発生して、災害につながります。

安全対策の不備の例

適正工具が記載されていない

手順書の不備が見逃されている

ヒヤリ経験が放置され、
手順書が改善されない保護具未着用での作業を
容認していた疑問を放置し、上長にも
確認・報告しない作業現場に行くまで
保護具着用の確認をしなかった

ヒューマンエラーや
災害を生み出しやすい要因が
なかったか

**それを見直すために、
災害事例を活用する**

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

災害・事故事例から
効果的に学ぶために③**現場目線で対策を考え、
誰もが現場で実行できる対策にする。**

問題が発生するプロセス



問題が発生するプロセスでは、原因を遡れば、作業管理に時間的な余裕がなかったとか、適正な工具を確認できなかったとか、あるいは現場の様子を反映する習慣がなかったから、疑問が放置されていたなど、環境づくりが疎かになっているケースがあります。

ですので、対策や教訓だけを考えるのではなく、取るべき行動を取りやすい環境も作っていただきたいのです。手順書を作成するために、現場を見に行く時間を確保するとか、手順書と現場を照合する習慣を皆でつくるといったことが含まれます。



**対策や教訓は、
環境づくりとセットで考えること。**

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

自分ごと化を促す
職場の取り組み「他人の経験は役に立つ」という実感が、
共通点への着目を促す。

職場でのオープンな議論（対話）が、
災害事例を自分のために活用しようと思わせる
「共通点への着目」を促進する。

職場で共通点への着目を促進するのは？

職場の
様子

オープンな議論

当事者の視点での
共通点への着目

出典：長谷川・三沢・山口（2017）『産業・組織心理学研究』30,119-130のTable3をもとに作成

自分ごと化促進のために職場でできること

- 失敗談を気軽に話す
- 仕事をうまく進めるためのノウハウも気軽に話す
- 他人の経験から皆で学ぶ雰囲気をつくる
- 新たな災害事例が周知されたら類似の経験を話題に出す
- 他人の失敗を踏まえて、今の自分たちの安全な作業環境が築かれていることを教える

以前、この職場でも
同じようなことが
あったんだ。過去にこういう災害があったから、
今はこの手順で作業するようになっています。

当事者の視点で災害を見つめ、災害
事例と自分の共通点に着目できるよ
うになるためには、どうしたら良いで
しょうか。

これに効くのが、職場でのオープンな
議論（対話）です。

職場でいつも「こうやったら作業がう
まくいったよ」とか「こうしたら安全だよ
ね」という対話をする。そうすると、他人
の経験も自分の仕事に役立てられると
わかる。それが災害事例を自分のため
に使おうという気持ちにつながります。

そのためには、失敗談や、仕事をう
まく進めるためのノウハウを気軽に話
せる雰囲気を作っておくことが重要に
なります。

それから、新たな災害事例が周知さ
れたら、現場の先輩方は、「こういうこと

は自分たちの職場にもあったんだよね」
と、類似の災害事例をぜひ若手の方々
に話をしあってください。

そうすることによって、自分たちの職
場も決して安全ではなく、過去に類似
の事例があったからこそ、自分たちの
職場が安全になってきたんだ、と実感
できます。

身近な他人の失敗を踏まえて、今の
自分たちの職場が築かれている。作業
手順はなぜこの順番になっているのか、
という、理由や目的の理解にもつなが
ります。

また、日頃から成功体験や失敗談に
ついて、職場で話をすることや、過去の
災害の経験が、職場の安全性を高めて
きた歴史を語ることも自分ごと化に有
効です。

災害・事故事例は役立つの？ ～役立つ学びと伝え方～

安全に関する専門家の講演

まとめ

災害・事故事例を自分ごと化し、役立たせるための学びと伝え方

学び 1

災害当事者の視点で
考えさせる

災害当事者も災害を起こしたかったわけではない。**それなのに災害が起こったのはなぜか？**を考える。

学び 2

とるべき行動を
学ぶだけではもったいない

①自分たちの日頃の行動と、②職場の安全対策の**綻び**が、災害を引き起こすことを理解する。

伝え方 1

失敗談や成功体験を
積極的に語る

他人の経験は役に立つという意識を醸成する。

学び 3

客観的な災害分析で
終わらない

自責の念に至らないと、行動は改善されない。その災害と同じようなことを自分たちもしていないかを振り返る。

学び 4

災害事例情報には、
学習者に
共通点を感じさせる内容を

災害事例学習は、**原因の深掘り**から始まっている。深掘りによって、多くの職場に共通した問題が浮かびあがる。

伝え方 2

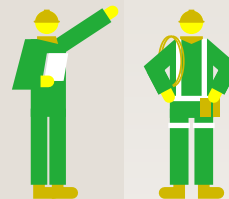
災害の経験が、
今の安全な職場を
形作ってきたという
歴史を語る

自分たちは、**過去の災害という礎（いしずえ）**の上で仕事をしていることを実感させる。

SAFETY DATA

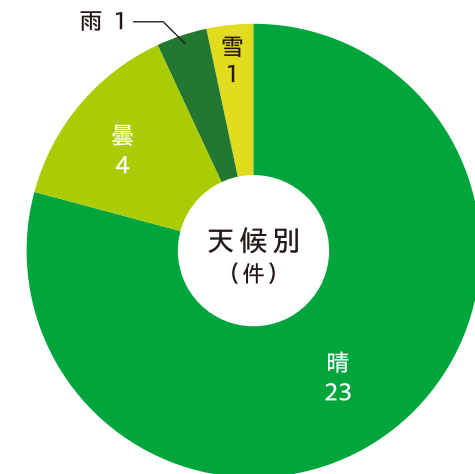
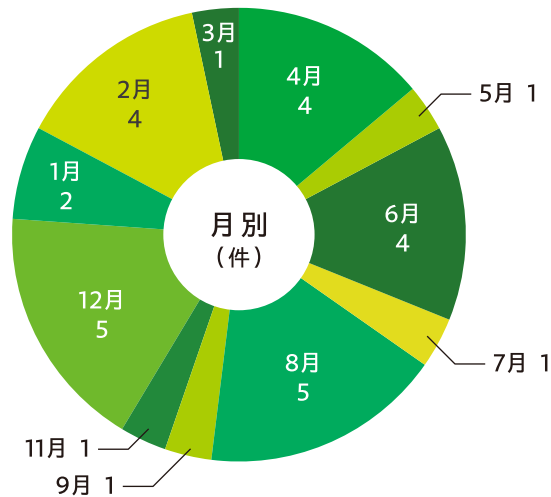
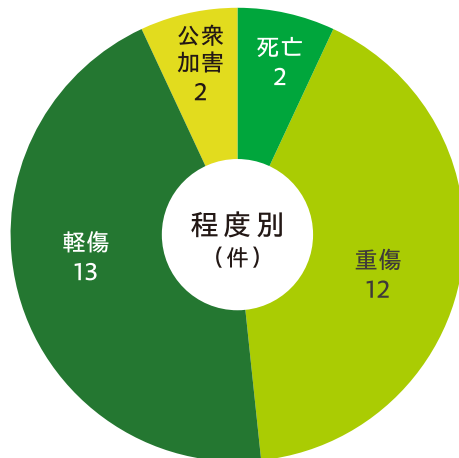
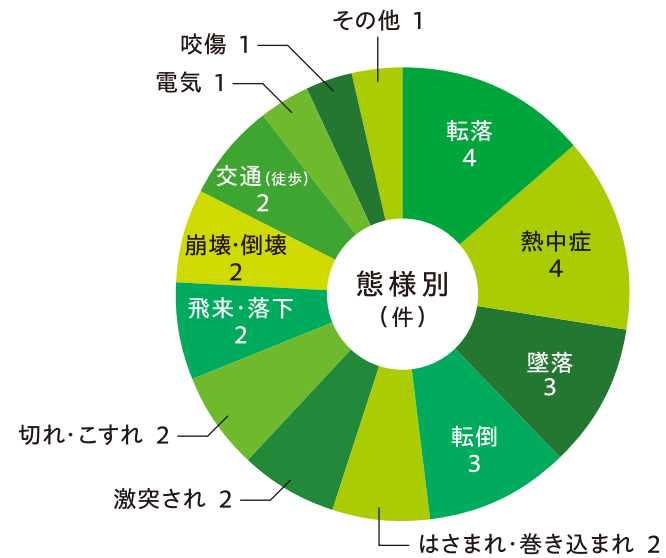
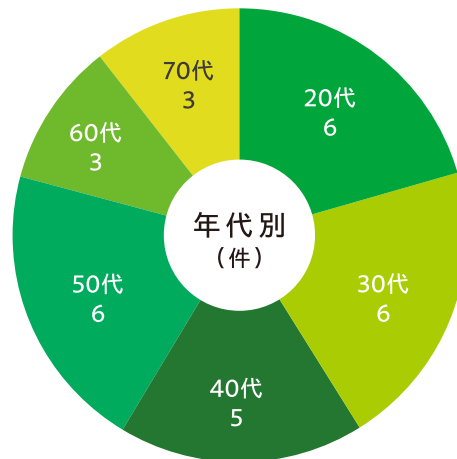
2025年度 請負災害統計

2025年度の
請負災害状況の振り返り



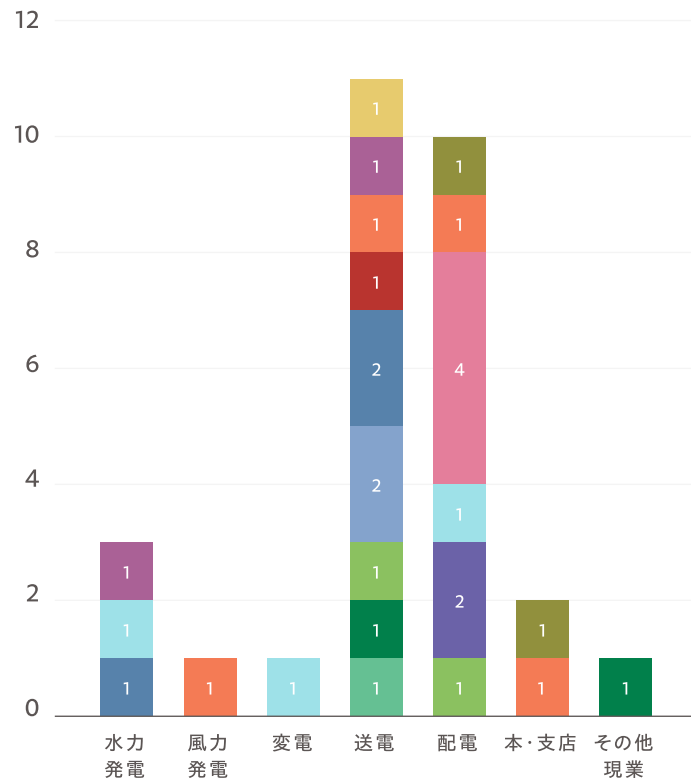
2025年度 請負災害統計

請負災害は全体で
29件発生

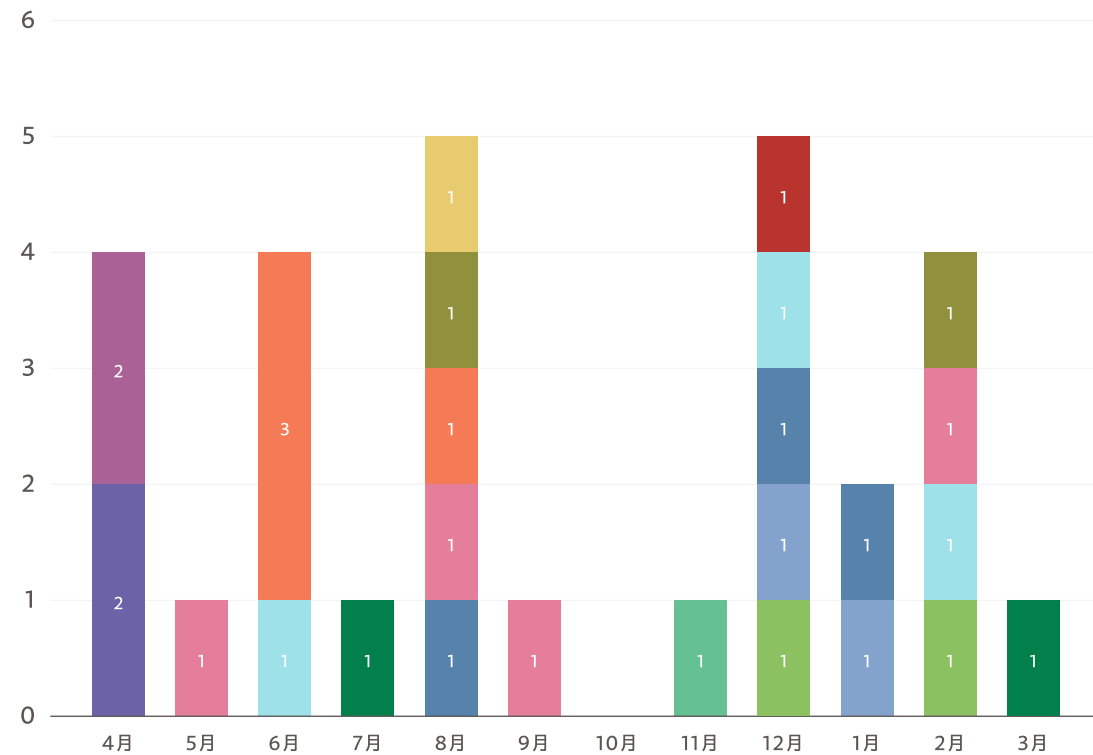


2025年度 請負災害統計

業態※ごとの態様別



月ごとの態様別



墜落 転倒 飛来・落下 熱中症 電気 激突され はさまれ・巻き込まれ
 切れ・こすれ 咬傷 その他 交通(徒歩) 転落 崩壊・倒壊

※業態は電気事業連合会が定める「安全・衛生関係統計表作成要領」に基づき規定。